

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成23年度事業)

事業の概要				根拠法令・例規等 備前市産業功労者表彰規定
事業開始年度	S46年～			
総合計画	大項目 基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目 基本施策	02	起業と創造が支えるまちづくり	
小項目 施策	05	勤労者福祉		
事務事業名				このシート作成に要した時間
03 産業功労者表彰事業				4.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	市内商工業各種産業に永年従事する者。	
目的 (何のために)	市の産業発展に寄与し、市民の模範となる者について、その功績を表彰し、もって市の産業の一層の発展を図る。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	優良従業員を表彰することにより、勤労意欲の向上を図るとともに、市民の模範となる者を広く公表し、市の産業発展につなげる。	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績				Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明		優先度
	産業功労者表彰事業	市の産業発展に寄与し、市民の模範となる者に対し、その業績を称え、表彰状、記念品、記念写真を贈呈する。		

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
		事業費	143	174
必要人員	千人	0.17人	0.06人	0.08人
事業費	千円	1,486	669	861
決算額	千円	国		
		県		
		支		
		出		
		金		
財源	千円	受益者負担		
		入		
		金		
一般財源	千円	市		
		その他		
一般財源	千円	1,486	669	861
受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
被表彰者数(市長表彰)	人	17	23	23
結果指標量	人	17	23	23
対前年比	%	-	135.3%	100.0%
活動コスト	円	1,486,000	669,000	861,000
単位当たりコスト	円	87,412	29,087	37,435

事業の成果						
成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値	
被表彰者数(市長表彰)	目標値(A)	25	25	25	25	
	実績値(B)	17	23	23	23	到達目標値
	達成率(B/A)	68.00%	92.00%	92.00%	92.00%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
産業功労者表彰(市長表彰)を受けた者						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C

事業の目的やその数値目標を標に留意しながら

進行年度(H24年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	事業費は、毎年度の市長表彰の人数により増減することから、本年度も昨年度と同人数分を計上している。						

総合評価		
産業功労者表彰は、労働者の勤労意欲の向上を促し、産業発展に有効な事業であることから、これ以上の見直しは困難である。		総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C

平成25年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	直接事業費のコスト削減は限界にきていることから、これ以上の見直しは困難である。						

Action